

自主避難するママたち

同情ではなく共感して

明日へ向かって

東日大震災8年・埼玉

④

「サンマの臭みがあれ

ば、シヨウガを足してく
ださい。1月下旬、川口
市長蔵の生協「生活クラ
ブ」の施設で、福島県か
ら自主避難してきた母親
が福島の家庭料理を教え
る教室が開かれていた。

テーブルには、できあ
がったばかりのサンマの
つみれ汁、シヤケの煮汁
でご飯を炊いた「はらこ
飯」などが並ぶ。夫と中
学3年の長女、小学4年
の次女と共に同県いわき
市から川越市に避難して
いる鈴木直子さん(45)は
「福島の復興支援にボラ
ンティアで通う人もいる
けれど、身近な埼玉でも
困っている被災者はまだ
たくさんいます」と語り
かけた。料理教室を発案
した、さいたま市の土屋
聖子さん(38)は「子供を
守りたい」という気持ち
は私たちも一緒。人ごと
ではない」とうなずいた。

ん。2014年春、自
主避難者の悩みを語り合
う場として発足し、鈴木
さんが代表を務める。現
在のメンバーは約70人
だ。

このうちの一人の高野
美香子さん(47)は「幼い
子供を守りたい」と11年
に南相馬市原町区から避
難し、現在はさいたま市
だ。

同市内で歯科助手のバ
ートで働き、震災から8
年たった今は自分も子供
も生活が落ち着いている。
それでも、避難という選択
が正しかったのか今も考
えることがある。子供た
ちが何か壁にぶつかると
「福島にずっと住んでい
れば違う人生があったの
ではないか」と悩む。同
居していた自分の両親か
ら孫の子どもたちを引き
離してしまった負い目も
感じる。

一方で、住所の確認が
必要な場面で「なぜ住民
票をさいたま市に移さな
いの」と尋ねられ「避難
者として見られないほど
年数がたったんだ」とシ
ョックを受けたこともあ
った。「住民票を変えない
こと一つにも、理由があ
ることを知ってほしい」
ぼろろんは現在、県民
との交流にも力を入れ、



高野さん(右端)から家庭料理を教わる参加者ら川口市内で

天気	インフルエンザ	乾燥肌	花粉
さいたま 気温18/7°C 降水確率 80% 6 9 12 15 18 21 24時 あすの予報	2 注意	2 注意	4 非常に多い
熊谷 気温18/8°C 降水確率 80% 6 9 12 15 18 21 24時 あすの予報	2 注意	2 注意	4 非常に多い
秩父 気温18/5°C 降水確率 80% 6 9 12 15 18 21 24時 あすの予報	1 ほぼ安全	2 注意	4 非常に多い
春日部 気温19/8°C 降水確率 80% 6 9 12 15 18 21 24時 あすの予報	2 注意	2 注意	4 非常に多い
週間予報			
13日(水) 気温17/4°C 降水確率 20%			
14日(木) 気温15/2°C 降水確率 10%			
15日(金) 気温14/2°C 降水確率 40%			
16日(土) 気温15/3°C 降水確率 30%			
17日(日) 気温15/3°C 降水確率 10%			

天気欄の見方
 ■きょうの天気、きょうの行楽地は6~24時の予報
 ■あすの予報、週間予報は0~24時
 ■風向きは↓北、↙北東、←東、↘南東、↑南、↗南西、→西、↖北西
 ■こよみ、日・月の出入、満潮、干潮はあすのデータ

周囲の理解に不安抱え

原発事故で政府が避
難指示を出した区域外
から放射性物質への不
安などを背景に自ら避
難した自主避難者は、
相次いで住宅支援が打
ち切られている。

福島県は2017年
3月末で住宅の無償提
供を終了。17年度は月
収約21万円以下の世帯
を対象に月額最大で3
万円、18年度は最大2
万円の家賃補助を出し
てきたが今年3月に打
ち切る。同県によると、
埼玉県内では1月末現
在で約90世帯が補助を
受けている。

自主避難者を取材し
ている川越市のフリー
ライター、吉田千亜さ
ん(41)は「自主避難者
は『ここに私がいてい
いのか』と孤独感を持
ち、周囲に自分を理解
してもらえない不安を
抱えている」と話す。
「支援の打ち切りでた
だの引越しと同じ扱
いになり、原発事故が
なければ本来は避難す
る必要がなかった被
害者だという事実が
消えてしまう」と懸念
する。

被災者支援団体「震
災支援ネットワーク埼
玉」によると、避難者
が集まる交流会では
避難指示区域から避
している「強制避難者
の割合が多く、自主
避難者は少ないとい
う。吉田さんは「強制避
難者」と自主避難者
は賠償の水準などが異なり
震災直後は特に悩
を共有しにくかった
同じ境遇の人が同
問題について話が
きけることは、前を向
て生きていくための
一歩で重要だ」と話
す。